

青葉山公園 仙臺緑彩館

Sendai Ryokusaikan Visitor Center, Aobayama Park

ご利用案内

青葉山公園



歴史観光	仙台城本丸跡、伊達政宗公騎馬像、大手門脇櫓、中嶋池、五色沼、長沼、仙台市博物館、仙台城見聞館
交流	仙台国際センター会議棟・展示棟、国際センター彫刻広場、青葉山公園庭球場
文化体験	仙臺緑彩館、残月亭、桜の小径、三太郎の小径、竜ノ口沢
指定・選定	国史跡仙台城跡、鳥獣保護区特別保護地区青葉山

供用時間 24時間・入園可(無料)

所在地 仙台市青葉区川内追廻無番地

アクセス 電車: 仙台市営地下鉄東西線「国際センター駅」から徒歩7分
バス: るーぶる仙台「博物館・国際センター前」から徒歩2分
車: 東北自動車道仙台宮城ICから約10分

駐車場 普通車: 100円/30分(234台 うち障害者等用4台)
大型車: 500円/30分(9台)
入庫24時間可

仙臺緑彩館



主な機能 インフォメーション、展示・ライブラリー、カフェ、ショップ、ホール、和室、トイレ、ラウンジ

開館時間 9:00～19:00 冬期(12～2月)9:00～17:00

休館日 3月・6月・9月・12月の第1月曜日
年末年始(12月29日～1月3日)

H P <https://parks-aobayama.jp>

電話番号 022-266-1651 FAX 022-266-1652

メール info@parks-aobayama.jp



はじめての野鳥観察セット

お気軽にスタイル

気軽に野鳥観察を楽しむ服装。動きやすい服装(長そで、長ズボン)と歩きやすい靴、帽子、寒い日は防寒具、手袋など。ショルダーバッグ(両手が空くもの)に収納。持ち物は下記3点がマスト。



双眼鏡



飲み物や行動食



防虫スプレー

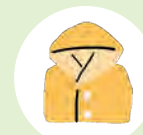


上級者スタイル

動きやすい服装(長そで、長ズボン)と歩きやすい靴、帽子、寒い日は防寒具、手袋など。リュック(両手が空くもの)に収納。持ち物はお気軽にスタイルの3点に合わせ、必要に応じて下記のアイテムを。



ノート・筆記用具



雨具



野鳥図鑑

Sendai Aobayama Bird-Life Guide

TAKE
FREE

2025

野鳥の園へようこそ



ふだん生活の中で、あまり気に留めることのない鳥たち。しかし鳥たちは、私たちの身近なところで、色とりどりの羽を広げて生きています。朝の公園、街の木々、あるいはお庭の隅で。ふとした瞬間、可愛い姿を見せてくれることがあります。そんな瞬間に気づくことで、自然とのつながりを感じられるでしょう。このフリーペーパーでは、野鳥の魅力や観察の楽しみ方を、わかりやすくお伝えします。ちょっとした知識を得ることで、いつも通る道が特別な場所に変わります。運が良ければ、珍しい野鳥に出会えるかも！じつは、ここ青葉山は、さまざまな野鳥の宝庫。遠いようで近く、やさしいようで奥深い野鳥の世界をのぞいていただければ幸いです。鳥たちのさえずりや可愛い姿、凛々しい動きは、私たちの日々にはほのぼのとした癒しや新鮮な刺激を与えてくれることでしょう。青葉山の野鳥の園へ、ようこそ。



Birds are not something we usually pay much attention to in our daily lives. Yet birds live in our immediate surroundings, spreading their colorful wings. In a park in the morning, in the trees in town, or in the corner of a garden, they might give us a glimpse of their lovely appearance at a moment's notice. Noticing such moments may help you feel a connection with nature. This free handout introduces the charm of wild birds and helps identify them in an easy-to-understand way. With a little knowledge, the path you usually take may transform into a special place. If you are lucky, you may even be able to spot some rare birds! Aobayama is a treasure house of various wild birds. We hope you will take a peek into the world of wild birds, which seems distant yet close, gentle yet profound. The birds' songs, cute appearances, and dignified movements have a way of relaxing and soothing, yet also offering fresh stimulation to our lives. Welcome to the world of wild birds in Aobayama.

Sendai Aobayama Bird-Life Guide

Bird List

-MINI-



R 川 空中

タカ目タカ科
全長:59~69cm



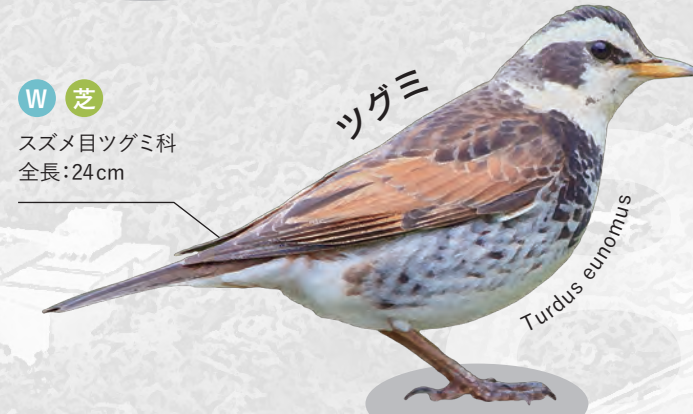
W 河川敷 平地

スズメ目ヒタキ科
全長:15cm
※写真は雄



W 川 沼

カモ目カモ科
全長:雄75cm、雌53cm
※写真は雄



W 芝

スズメ目ツグミ科
全長:24cm



R 川

ペリカン目サギ科
全長:93cm



R 川 沼

カモ目カモ科
全長:61cm



W 川 沼

カモ目カモ科
全長:38cm ※写真は雄



R 川

ペリカン目サギ科
全長:89cm



S 森

スズメ目ヒタキ科
全長:14cm
※写真は雄

S 河川敷

スズメ目ヨシキリ科
全長:18cm



W 川 沼

カモ目カモ科
全長:59cm ※写真は雄



メジロ

Zosterops japonicus

R 森

スズメ目メジロ科
全長:12cm

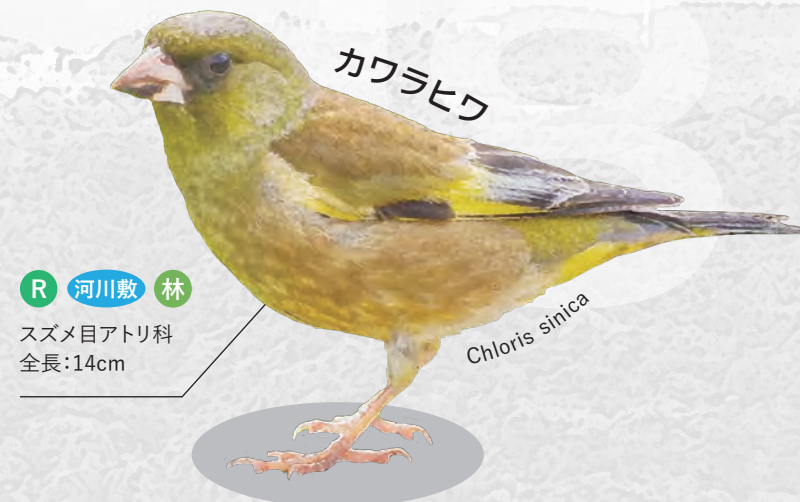


R 森

スズメ目ウグイス科
全長:雄16cm、雌14cm

Horornis diphone

ウグイス



カワラヒワ

R 河川敷 林

スズメ目アトリ科
全長:14cm

Chloris sinica

R 森

キツキ目キツキ科
全長:15cm

コゲラ

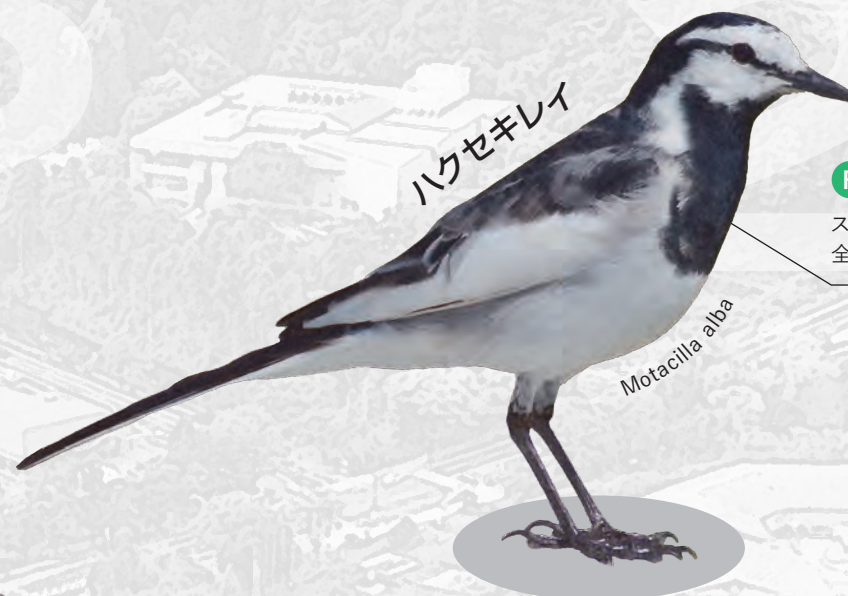
Yungipicus kizuki

R 森

スズメ目シジュウカラ科
全長:14cm

Sittiparus varius

ヤマガラ



ハクセキレイ

Motacilla alba

R 川 沼

スズメ目セキレイ科
全長:21cm

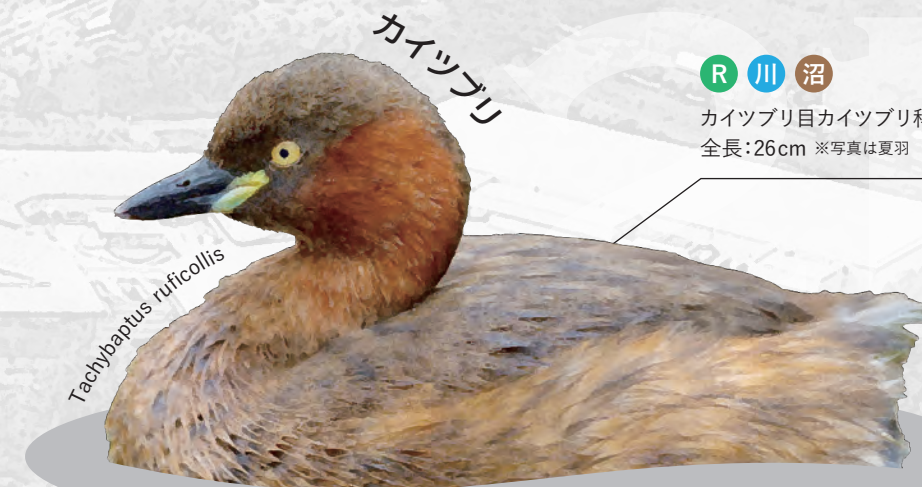


R 森

スズメ目エナガ科
全長:14cm

エナガ

Aegithalos caudatus



カイツブリ

Tachybaptus ruficollis

R 川 沼

カイツブリ目カイツブリ科
全長:26cm ※写真は夏羽

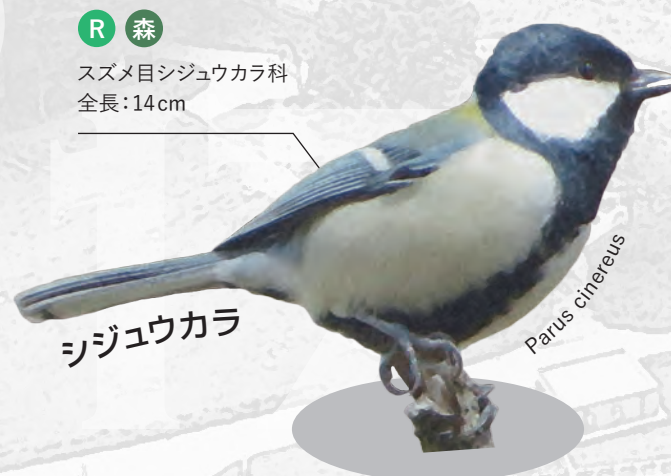


ヒヨドリ

Hypsipetes amaurotis

R どこでも

スズメ目ヒヨドリ科
全長:27cm



R 森

スズメ目シジュウカラ科
全長:14cm

シジュウカラ

Parus cinereus



セグロセキレイ

Motacilla grandis

R 川 沼

スズメ目セキレイ科
全長:21cm



カワセミ

Alcedo atthis

R 川 沼 森

ブッポウソウ目カワセミ科
全長:17cm
※写真は雌

野鳥沼にハマる

野鳥好き3人組

Aさんお気に入り
双眼鏡

Bさんお気に入り
ショルダーバッグ

Bさんお気に入り
Nikonの双眼鏡

Cさんお気に入り
ライカの双眼鏡

以前から顔見知りではあったが、北海道での探鳥会をきっかけに仲が深まったという3人。彼らが野鳥に興味を持ったきっかけとは…

Q1 野鳥観察の魅力を教えてください



Aさん

野鳥の世界は奥が深い。鳥は人が活動する前の朝、水辺などで動き始め、日が昇ってくると餌となる虫が隠れてしまうので、昼前には休憩。蒲生干潟や鳥の海など、潮の満ち引きと水位が関係する場所では鳥の動きも変わり、興味深いですね。



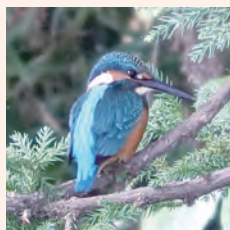
Bさん

初めて青葉山でカワセミを見たとき、その美しさに驚きました。野鳥と関わるようになり、仕事以外の人間関係も新鮮で人生の楽しみが増えました。



Cさん

季節や年ごとの変化が面白いです。広瀬川のこの辺のカワセミは昔よりも増えた気がします。水質が良くなったのか、温暖化の影響もあるかもしれないですね。



カワセミ (Aさん撮影)



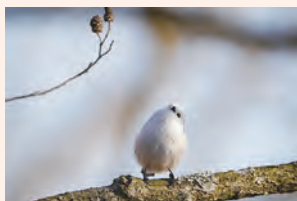
Aさん

他にも、双眼鏡を持って歩き回るので良い運動にもなりますね。朝から数時間ほど、沼の周りなどを一周すると、3、4キロくらいアッという間です。探鳥会の後は、観察した鳥の種類や数をみんなで確認する「鳥合わせ」を行います。



Bさん

自分の位置や目的地が分かる渡り鳥の能力は凄いですね。昨年、宮城では珍しいシマエナガを伊豆沼で見ました。ニュースでも取り上げられ、遠方から多くの人が押し寄せて大変な騒ぎでした。



シマエナガ (Bさん撮影)



Cさん

シベリアからオーストラリアまで移動する渡り鳥と、特定の場所で過ごす留鳥がいます。以前、宮城のスズメが新潟で発見された例もあるようです。留鳥のスズメが遥々新潟まで山越えの移動をしたんですかね。鳥には解明されていない謎が多くあるのも魅力ですね。



40年位前に大橋を背景に撮ったヤマセミ (Cさん撮影)



Aさん

皆さんの野鳥の推し活について教えてください。



Aさん

今度この3人で、タンチョウ、オオワシ、シマフクロウ、ユキホオジロなどを求め、北海道根室の納沙布岬へ10日間かけて野鳥観察に行く予定です。



Bさん

バイクに乗るので、ツーリングをしながら、野鳥の他にもキタキツネ、エゾシカ、リスなどの動物や植物も撮影します。このような旅は、知識が広がり、深く知ることができるのが楽しいです。



Cさん

約1,000kmのみのく潮風トレイルを歩いた経験もありますが、時間などの関係で移動を急ぐと、どうしてもその区間の印象は薄くなってしまいます。野鳥観察の旅はゆっくり歩いて、立ち止まることも多いので、体験が濃くなります。

Aさん: 最初に野鳥に興味を持ったのは、自宅にツバメが4つ巣を作っていたこと。平成5年頃から写真を撮るようになり、鳥を撮影するには生態を知る必要があると実感し、深く野鳥に興味を持つようになる。/Bさん: もととは山・花・植物など自然の写真を撮るのが好きだった。山で出会う人たちとの会話の話題に多かったのが野鳥に関することで、もっと野鳥について知りたいと思い、探鳥会に参加するようになった。/Cさん: 小中学生の頃カメラに興味があり、中学では写真クラブに入り、探鳥会にも参加していた。良い写真が撮れるよう、鳥について学ぶうちに、カメラから鳥へ興味が移る。野鳥観察歴は40年以上。

文化と野鳥

ホオアカ堂インタビュー

文化と野鳥と私 ホオアカ堂

interview

仙台の街中でも野鳥はみられますか？

ホ) 色々な野鳥がいますよ。中心部の勾当台公園でも2時間で14種類の野鳥を見つけたことがあります。緑彩館を含む青葉山エリアでは、季節毎にさらに多くの野鳥を観察できます。

青葉山エリアではどんな野鳥が観察できますか？

ホ) 追廻地区では春は色鮮やかなオオルリ、キビタキなどの夏鳥が立ち寄ります。冬は、広瀬川や長沼(博物館脇)の水辺に足を延ばせば、色々な種類のカモも見ることができます。

野鳥の魅力を一言でいうと？

ホ) 自然の中で野鳥を探すのは宝探しのようです。自分のペースで好きな時に、好きなように観察できるのも魅力ですね。商品のデザインや、まちの中の装飾モチーフなど、日常生活の中に溶け込んでいる野鳥を探したりと、文化的な面で鳥と関わるのも楽しいです。



ホオアカ堂が集めた野鳥のグッズ

／ チェツチェツ ／

スズメ目ホオアカ科/全長16cm

ホオアカ Emberiza fucata



いきものと文化のあわいに ホオアカ堂



大学時代、体力に自信が無くても楽しめそうな自然系のサークルを探し、野鳥サークルに入り、追廻地区での鳥見を始め。最近では仙台市内や隣県で、自分のペースでゆっくり観察したり、野鳥や他の動物をモチーフにしたものづくり等も行。自分の屋号を決めたいと思った際、大学時代に友人から「鳥に例えるとホオアカみたいだね」といわれた事があり、自分でも気に入っていたのでホオアカ堂と名付けた。

伊達政宗と鷹



仙台藩祖・伊達政宗は大変な「鷹狩好き」でした。徳川家康から、埼玉県久喜市「鷹場」(鷹狩を行うことを認められた場所)を拝領し、将軍や大御所が所有する「御鷹(おたか)」も拝領。1カ月近く久喜に滞在して、連日鷹狩を行い、雁(がん)やアオサギなどの獲物を献上しました。政宗の鷹狩好きを受けて、仙台藩では鷹を飼育・調教する「鷹匠・鷹師」を多く抱えていました。鷹の調達や調教が進まず鷹の献上に支障が出た際、怒った政宗は、なんと関係者1人を磔(はりつけ)にする厳しい処分を行っています。鷹の献上はそれほど幕府との関係を保つうえで重要なことだったのです。晩年、政宗は病をおして江戸へ参勤のため出発します。病状が悪化する中でも政宗は途中で鷹狩を実施。亡くなる数日前、既に死期を悟っていた政宗ですが「病気が回復したら、江戸の近くで鷹狩を行おう」と言い、心配する人々を元気づけたといいます。最期まで本当に鷹狩が大好きだったんですね。

Date Masamune, the founder of the Sendai domain, was a great falconry enthusiast. He was bestowed with a falconry ground (a place where falconry was permitted) from the shogun Tokugawa Ieyasu in Kuki City, Saitama Prefecture, and also received falcons owned by the shogun and the Imperial Court. He would stay in Kuki for nearly a month, hunting with falcons every day, and offered his catch of geese, great blue herons and other game in return.

Thanks to Masamune's love of falconry, the Sendai domain had many falconers who raised and trained falcons. Once, when the procurement and training of falcons did not go smoothly and created problems with falcons intended for donation, Masamune was so angry that he crucified one of the falconers involved. That was how important the donation of falcons was to maintain the relationship with the Shogunate.

In his later years, Masamune left for Edo (Tokyo) to attend to his duties despite his illness. Even as his condition worsened, Masamune continued to engage in falconry. A few days before his death, Masamune was already aware that the end was near, but nevertheless cheered up the people who were worried about him by saying, "After I recover, let's enjoy falconry near Edo." He truly loved falconry until the end of his life.

アリを殺虫剤がわりにするカラス



人間のもっとも身近な鳥といえるカラス。見た目が黒く、早風呂のことを「カラスの行水」と喩えたりしますが、じつはカラスはキレイ好き。しょっちゅう水浴びや砂浴びを行い、体のよごれや寄生虫を落として、清潔に保ちます。特に、子育てを行う春から夏は、ダニやシラミなどの寄生虫が発生しやすく、ヒナたちが健康に成長するためには、親カラスがしっかり寄生虫を退治することが大切です。そこで登場するのが、なんと「アリ」! まず、アリの巣の近くに寝転がったり、羽をバタつかせたりします。すると、アリは腹を立て、カラスの体にゾロゾロはい上がってきます。そこでカラスは「待っていました!」とばかりに、くちばしでアリを容赦なくつぶしまくります。なぜ、そんなことをするのでしょうか?じつは、アリは体内に「蟻酸(ぎさん)」という化学物質を持ち、怒ったときに蟻酸を出します。カラスは、アリを挑発し、怒らせ、蟻酸を出した状態で叩きつぶすことで、羽に蟻酸がばらまかれ、ダニやシラミを追い払えるのです。なかなか、腹黒いですね。

Crows are the bird that is perhaps most familiar to people in Japan. They are black in appearance, and there is even an expression in Japanese "karasu no gyozei," or "shower like a crow," due to their characteristic of taking quick baths. In fact, crows really like to keep clean, and they often bathe in water and sand to remove dirt and parasites from their bodies. Particularly from spring to summer, when crows are raising their young, they are prone to gaining parasites such as mites and lice, and it is important for the parents to kill parasites to ensure the healthy growth of their chicks. This is where ants come in!

First, a crow lies down or flaps its wings near an ant nest, causing the ants to get angry and start crawling up the crow's body. Then, as if to say, "I've been waiting for you!" the crow mercilessly crushes the ants with its beak. Why do crows do this? Ants have a chemical called formic acid in their bodies, which they release when angered. The crows provoke the ants, make them angry, and squash them while they are producing formic acid, which disperses on the wings and drives away mites and lice. It's quite a black-hearted thing to do, isn't it?

参考『生きのこるって、超たいへん!めげない いきもの事典』

口からミルクを吐き出すキジバト



キジバトを知っていますか? 羽のまだら模様がキジに似ていることからキジバトと呼ばれ、もともと山にすんでいましたが、街でも見かけるようになりました。街で増えた理由は、人の近くに巣をつくれれば天敵のタカやヘビに襲われにくいから。のんびり屋に見えて意外としたたかなんですね。実はこのキジバト、スゴイ特技の持ち主。なんと口からミルクを吐き出して、ヒナに与えるんです!これは喉の奥にある「そのう」という場所で作られた「ビジョンミルク」。栄養満点でけてってゲロではありません。このミルクをあげられるからキジバトは一年中卵を産み、冬でも子育てができるのです。さらにこのミルク、なんとメスだけでなくオスもあげられるんです! キジバトでも夫婦で協力して子育てするので、人間も夫婦一緒に子育てしないといけませんね。

How much do you know about Oriental turtle doves? They are called "kiji-bato" (pheasant pigeons) in Japanese because the speckled pattern on their wings resembles that of a pheasant. Although they originally lived in the mountains, they are now increasingly seen in urban areas as well, since they are less likely to be attacked by hawks and snakes (their natural enemies) if they nest near people.

Although they may appear to be laid-back birds, they are surprisingly tough. In fact, Oriental turtle doves possess an amazing ability: they spit out milk from their mouths and feed it to their chicks! This "pigeon milk" is produced in the crop, which is part of the esophagus, and is full of nutrients (it is certainly not vomit). This milk allows Oriental turtle doves to lay eggs all year round and raise their young even in winter. And not only females but also males can produce this milk! Just as Oriental turtle doves cooperate with their spouses in raising their young, we humans must also raise our children together with our spouses.

参考『生きのこるって、超たいへん!めげない いきもの事典』

漫画ハイキュー!!の著者は鳥好き!?

バレーボールをテーマにした青春人気漫画「ハイキュー!!」。じつは「ハイキュー !!」には「鳥」と関係のある名前ががたくさん登場します。まず、主人公の日向翔陽(ひなたしょうよう)と、ライバルの影山飛雄(かげやまとびお)。名前に「翔」「飛」と鳥をイメージさせる漢字を含み、中学時代に対戦した二人は鳥野(からすの)高校へ入学。鳥野高校のチームカラーやエンブレムはカラスをイメージしたデザインです。また、鳥野高校のライバル校として泉谷(ふくろうだ)に学園高校、白鳥沢(しらとりざわ)学園高校、鳴台(かもめだい)高校が登場。さらに鳥養一繁(うかいいつけい)と孫の繫心(けいしん)や鷺匠鍛冶(わしじょうたんじ)、鷺尾辰生(わしおたつき)、尾長涉(おながわたる)、雀田かおり(すずめだかおり)、雲雀田吹(ひばりだふき)などなど。「これでもか!」というほど鳥がらみのキャラクターが出てきます。興味のある方はチェックしてみてくださいね!

Haikyuu!! is a popular youth manga with a story centered around volleyball. But in fact, there are many names related to birds in the series. For example, take the main character, Shoyo Hinata, and his rival, Tobio Kageyama. Their names contain the kanji characters for "soar" and "fly," both words associated with birds, and the boys entered Karasuno High School after competing against each other in junior high school ("karasu" is the Japanese word for crow). Karasuno High's team colors are black and orange, and the school logo even bears the outline of a crow.

Meanwhile, Karasuno High's rivals include Fukurodani (Owl Valley) Academy, Shiratorizawa (White Bird Marsh) Academy and Kamomedai (Gull Heights) High School. In addition, there are the grandfather and grandson Ikkei and Keishin Ukai ("u" is another reading for "crow"), Tanji Washijo ("washi" means "eagle"), Tatsuki Washio (again, "washi" means "eagle"), Wataru Onaga ("onaga" means "an azure-winged magpie"), Kaori Suzumeda ("suzume" means "sparrow"), and Fuki Hibarida ("hibari" means "skylark"), just to name a few. You may be surprised at just how many bird-related characters there are. If you are interested in this manga, check it out!



仙台市体育館のエントランス付近